

卒業論文要旨

本研究は、アイドルオタクが同性アイドルを推す理由を明らかにする。

従来、男性が憧れる男性はロックバンドなどの男らしい男性である。PRODUCE101 では、化粧をする、綺麗さを重視し、美しい男性が多数存在している。なぜ男性は大衆から見ると男らしさが少ない男性を「推す」のかについて関心を持ち、そして女性が女性を推す理由を考える上、本研究を始めた。

本研究では、「PRODUCE101」のファンを主体し、同性アイドルを応援する限定された一部のファンを調査対象し、ファンから見るジェンダー規範を整理するのは目的とする。本研究は、質的研究を使い、女性アイドルと男性アイドルを推す男性2名、女性アイドルだけを推す女性1名、男性アイドルと女性アイドルを推す女性2名、男性アイドルだけを推す女性1名にインタビューし、比較を通して分析する。

第一章では、PRODUCE101 の在り方と特別性を説明する。第二章では、本研究の研究対象および研究方法を紹介する。第三章では、インタビューの結果をジャンルを分けて説明する。第四章では、インタビュー内容を分析し、諸概念を使った上考察する。

調査を通して、ファンが同性アイドルを推す上、アイドルの外面だけでなく、内面的な品質を補完するという「ハロー効果」を持つてることが判明した。そして、PRODUCE101 自体もファンの間も、ステレオタイプを持つてることが判明した。PRODUCE101 では、よく「男らしくない」、「女らしくない」というような批判が練習生たちに殺到する、PRODUCE101 のファンが自己価値投影をしやすくなり、アイドルへの感情がより深くなる傾向があると判明した。さらに、PRODUCE101 のファンの中に、家父長制を体現できる現象や、フェミニズムを主張する現象も様々存在していることが判明できた。

おわりに、本論文は、PRODUCE101 のファンを限定し、一部の人にインタビューをして調査を行ったため、その結論はまだ不完全である。これからの課題として、より幅広い人たちに調査し、より全面的な結論を得るように研究をしたい。